

関東のいずもさん社報

むすひ

夏の風物詩

夏詣

降りしきる蝉の声に夏の盛り、夏詣のご参拝をおすすめします。

大晦日に「年越」の大祓をするように、新年から半年後の六月末に「夏越」の大祓を経て、過ぎた半年の罪穢れを祓い、無事感謝するとともにこれから半年のさらなる平安を願うべく夏に神社に詣でる「夏詣」なつもうで。

七月一日〜八月三十一日の二か月間、湧き出る名水に因んだ企画を用意して、下記の通り夏詣を実施。



夏詣限定御朱印

令和七年四月 秦野市制七十周年記念

大相撲秦野場所開催 勸進元出雲大社相模分祠

令和七年四月二十五日大相撲秦野場所を市総合体育館（メタックス体育館）にて盛大に開催。実行委員長 草山清和相模分祠長・勸進元 出雲大社相模分祠

担当親方は、第六十九代横綱白鵬こと宮城野親方。横綱豊昇龍、大関大の里・角界力士の取り組みを間近で見る為、当日は満員御礼。3200名が来場。迫力ある国技大相撲を披露。



髪結実演、床山・床旭美が尊富士関の髷を見事に結い上げる

当日は早朝より1日、公開稽古・人気力士とちびっこの稽古・幕下以下の取組開始・初切、相撲甚句、太鼓打分実演・髪結実演、網締め実演・幕内土俵入り、横綱土俵入り・幕内力士取組などが催された。

「秦野名水」と「湧水ミストシャワー」で「涼」を呼ぶ

当分祠西側「千年の杜」では慶長十四年より「ゆずりの水」が湧水し、生命力に満ちた緑あふれる「鎮守の森」が守り伝えられております。丹沢の山々に囲まれた秦野。秦野盆地の地下は天然の水がめとも評され、丹沢山系に降った雨が長い年月をかけて地下水となり、市内各地でわき出ており、秦野盆地湧水群として昭和六十年に環境省の名水百選に選定されました。また、平成二十八年に環境省が行った「名水百選」選抜総選挙の「おいしさがすばらしい名水部門」において、「秦野名水」は全国一位を受賞しました。

地下五十メートルより汲み上げられたこの湧水は、大変清らかで柔らかな口当たりのおいしい湧水です。

秋は風情豊かに

秋の菊花展・菊づくりの準備が始まりました。秋の境内は、当分祠開催の菊づくり教室の作品展示他、数百鉢の菊飾り・紅葉などによって色鮮やかに彩



菊花展も開催

られます。七五三はじめ秋の記念写真撮影スポットも好評。期間：令和七年十月下旬〜十一月下旬



南はだの村

桜まつり盛況に開催

境内の中心にある桜の木は、高さ二十メートルにおよぶ巨大なソメイヨシノ「良縁桜」。今年も美しい桜の開花に人々の心を和ませた。例年、開花は三月下旬から始まり四月上旬が見ごろ。本年は例年より遅い開花でした。

桜まつり限定御朱印、秦野名水仕込みの甘酒、和菓子や串団子・夜桜ライトアップなど様々な催しで参拝者をもてなします。

また、同時期、当分祠のすぐ近くに位置する、神奈川県で一番長い日本有数の桜並木「はだの桜みち」で、全長六、合計七〇〇本の咲き乱れる桜の様子もおすすすめ。

さらに、四月十二・十三日には、桜吹雪の木の下、よさこいを奉納する「第三回よさこいご縁まつり」も盛況に開催されました。



花手水と夏風鈴



高さ20mの巨木 良縁桜ライトアップ



満開のソメイヨシノ



桜満開の中、関東一円より六十一チーム以上・約千人の踊り手がよさこいを披露、盛況な奉納演舞が行われた。境内にはたくさんのお店キッチンカーも並び、二日間の来場者は約二千人、楽しい春の縁日が催された。

優勝 今、ひとたび（東京・大阪）

準優勝 疾風乱舞（平塚）

第3位 躍動（相模原）

出雲大社相模分祠特別賞 うふふ（相模原）

ジャパンニューアルファ

チームズ特別賞 武蔵國よ

さこい連一心（東京）

ジェイコム湘南神奈川

西湘局局長賞 音ら韻

秦野市長賞 柳葉魚のざ

わめき（東京・大阪）

南はだの村七福神と鶴

亀めぐり特別賞 なかよし座（関東）



よさこいご縁祭りホストチーム「teamI ZUMO」



遠く愛知より参加よさこいチーム「陽焰」

《令和七年神事行事予定》

※変更の場合もあります

六月上旬

出雲大社教団大祭（島根県 おくのがえり

六月二十九日・三十日 七月六日

夏越の大祓茅の輪くぐり

七月一日〜八月末頃

夏詣（なつもうで）

七月十二日・十三日

ほおずき市

七月十三日〜十六日

（新暦お盆参り）

祖霊社みたたまつり

八月十三日〜十六日

（月遅れお盆参り）

祖霊社みたたまつり

九月九日

出雲大社相模分祠例祭

九月二十三日 秋分の日

秋季祖霊大祭（祖霊社）

旧暦十月十日〜十七日

（新暦十一月二十九日〜十二月六日）

神迎祭・神在祭

（島根県出雲大社）

十一月 七五三・菊花展

十二月三十日 年越の大祓

《令和八年》

元日（一月一日）〜節分

初詣・ダイコク市・提灯

ぼんぼりライトアップ（境内）

二月三日

節分祭 豆まき神事

二月四日（立春）〜下旬

梅まつり

二月十一日 紀元祭

二月十七日 祈年祭

二月二十三日

天長祭（天皇誕生日）

三月二十日 春分の日

春季祖霊祭（祖霊社）

四月

上旬 南はだの村桜まつり

中旬 よさこいご縁まつり

《月毎の祭典》

◆毎月一日 十時三十分

出雲大社相模分祠月次祭

（参列自由・予約不要）

◆毎月第一日曜日十五時

祖霊社・月次祭

（みたまつり）

（参列自由・予約不要）

◆永代供養相談会（随時）

（要予約）

境内ロケーション写真 思い出スナップ

当分祠に隣接されるレンガの建物「出雲記念館」の写真スタジオは四十年以上の実績があります。お宮参り、入学式、卒業式、結婚式、七五三、成人式など人生の節目に皆様の思い出が素晴らしいものとなりますよう、神社専属のプロカメラマンが撮影。最高の状態で製作します。

思い出スナップ

土日祝 二九七〇円
平日 二四二〇円
五〇カット以上写真データ納品。プリントアルバム別注可。ご家族様も一緒に思い出写真を残せます。
※お子様の体調不良や雨天時など撮影日の延期やキャンセルはご相談下さい。

お宮参り



出雲記念館 七五三・成人式 展示会

七五三



成人式



◆七五三衣裳 / 予約展示会
7月12日(土)・13日(日)
7月19日(土)・20日(日)
7月21日(月祝)
9月 6日(土)・ 7日(日)
◆成人式衣裳 / 予約展示会
7月19日(土)・20日(日)
7月21日(月祝)

展示時間 AM9:00 ~ PM4:00

電話予約可:0463(84)1122



豊富な経験を積んだ衣裳スタッフとお気に入りの着物を探して下さい。満足できるまで何度でも試着できるので安心です。

相撲の開祖野見宿禰

相撲のルーツは出雲にあり

とともに、以後垂仁天皇に仕えたとされる。
(日本書紀)

これより後、野見宿禰は「相撲の祖」と称えられるようになる。

日本伝統文化、国技たる大相撲。相撲の開祖の神とも称えられる野見宿禰は出雲大社と親和性が高い。その歴史を紐解くと神話の時代、垂仁天皇(三世紀後半から4世紀前半ごろ)の命で、出雲の「野見宿禰」ノミノスケネ」と力自慢で名を馳せた「当麻蹴速」タイマノケハヤ」が角力(相撲)をとり、見事力比べに野見宿禰が勝利し、蹴速のもつ大和国当麻の地(現奈良県葛城市当麻)を与えられる



島根県出雲大社境内に鎮座

ご参拝のお手伝い

出雲大社相模分祠の境内に隣接するレンガの建物「出雲記念館」。昭和五十六年に施工され、参集殿・祈待待合の他、結婚式場・記念写真・衣裳着付・会食など受付。七五三詣やお宮参りの衣裳・記念写真などたくさんの方の参拝者で賑わう。

館内には、簡易型授乳室が設置され、お子様連れも歓迎。AEDも設置され不測の事態にも備える。館内には、お土産の販売もしており、ご参拝の思い出に出雲そばや島根県出雲地方の土産品、ご神酒「八千矛」や当社謹製のお菓子なども取り扱っている。

先祖供養は祖霊社で

出雲大社相模分祠では、古くより神道による供養、祖霊祭祀を啓発している。出雲大社のご祭神「ダイコク様」は縁結だけでなく幽冥主宰大神として死後の世界を司る神様として伝承される。



納骨堂のご利用法

当社の信徒・崇敬者の方などなたでもご利用頂けます。他の宗教でも、新たに神式に改めご利用可能です。納骨堂にご遺骨を安置して、鎮魂・ご供養致します。弔い上げの際には、秦野市渋沢丘陵にある神道墓地に永代供養し、里山自然に還ります。後継者の、のちの管理や不安・問題も解消できます。たくさんの方々

アクセス 秦野駅 副駅名看板



当分祠最寄りの小田急線秦野駅に「出雲大社相模分祠最寄駅」と副駅名が名付けられております。年間数十万人の参拝者数となる当分祠。より多くの方に知ってもらいたいと副駅名看板が設置されました。出雲大社相模分祠は「関東のいずもさん」の愛称でお宮参りや七五三、初詣など神道文化の発信地として歩んできました。御参拝・年中行事の賑わいを通じてより多くの地域の皆様に寄り添い地域の発展に貢献します。



◆秦野駅北口5番乗り場 神奈中バス「保健福祉センター前」下車徒歩三分(運賃二二〇円)。
◆境内無料駐車場一三〇台有り。

祖霊社の神事

神葬祭・五十日祭(法要)・一年祭・水子供養・お盆・お彼岸供養・埋葬・永代供養・墓じまい等。神事後の直会(会食)も隣接する出雲記念館で出来ます。

みたままつりのご案内

祖霊社にて、毎月第一日曜日午後三時より合同のみたままつりを斎行しております(参加無料)。神楽をあげて祭詞を奏上する中、御参列の方のご先祖様・愛する故人の御名前を一人ずつお読み上げして丁寧に供養致します。



渋沢丘陵にある神道墓地 永代供養墓

納骨堂・神道墓地

永代供養料
三十九万円



境内祖霊社に隣接する納骨堂

神式のお葬式(案内)

神道でのお葬式を「神葬祭」といいます。当分祠は相模の国を基盤とした出雲大社の直接の分祠であり、確かな伝統と故実を踏襲した厳粛な神葬祭を御奉仕し、故人の御霊を鎮め、心静かに供養申し上げます。
「祭祀料二十五万円」
「別途交通費一日一万円」
※急なお申込みも対応可能です。直接お電話下さい。
※葬儀社のご紹介の場合はそちらの規定に従います。

永代供養相談会実施

お墓のご相談は事前申し込みの上、納骨堂・神道墓地のご案内の上、お見積りをご用意します。
※ご葬儀後のお申込み・生前申込み・墓じまいなど

夏越の大祓のご案内

茅の輪くぐりの神事

六月の晦日、恒例の夏越の大祓（おおほらえ）並びに茅の輪くぐりの神事を斎行します。

斎行日

六月二十九日（日）

午後三時

三十日（月）

午後六時

七月 六日（日）

午後四時

予約不要。どなたでも自由に参加できます

玉串料 三〇〇〇円

（二世帯）

授与品 茅の輪飾り

撤下饌

古来我々の先祖は、毎年六月晦日と年末の「大祓」によって心身を清浄にし、新しい半年の幸せを祈願しました。「一層の「幸せ」の縁をお授かりになりますよう」ご案内申し上げます。



夏越の大祓とは

大祓神事の歴史は古く、大祓詞（中臣祓）は平安時代（中臣氏）に記載され、古代（二千年）に記載され、古代豪族の中臣氏が司る宮中行事でもありました。人が生きる上で知らず知らずのうちに犯した罪や穢れを取り除き、災厄を避け心身を清らかにすることを目的とした神事です。毎年六月の晦日、十二月の晦日の年二回行い、半年ごとの罪穢れをお祓いします。わ

けても、江戸時代以降はこの六月の夏越の大祓には茅の輪くぐりの神事が斎行され、江戸の庶民に広まったとされ、日本中の神社で斎行される伝統行事となりました。当分祠でも毎年欠かさず斎行する恒例行事であり、大きな茅の輪くぐりを手作りして製作しております。初夏に奉仕会の有志が秦野盆地の山に赴き茅を切り出し、それをシュロ紐で結びつけ人がくぐれるほどの大きな茅の輪を作成します。これが大変難しく茅の具合や締め付ける強さなど細心の注意を払う必要があります。均一な太さに編み込むには熟練の技が必要とされます。

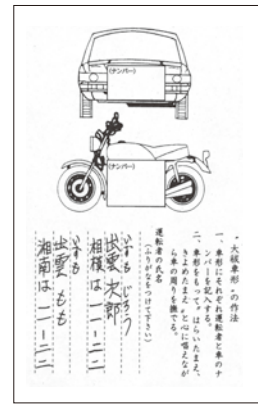
茅の輪くぐりは夏詣期間中6月～8月末ごろまで設置

なんで茅の輪をくぐるの？

その答えは出雲神話（備後国風土記）に伝えられております。ヤマタノオロチを倒した素戔鳴尊（スサノオノミコト）が、旅をしてる途中、蘇民将来（ソミニシヨウライ）、巨旦将来（コタンシヨウライ）という兄弟のところで宿を求めたところ、弟の巨旦将来は裕福であつたにも関わらず宿泊を拒んだのに対し、兄の蘇民将来は貧しいながらも喜んで厚く饗しました。その数年後、再び蘇民将来のもとを訪ねた素戔鳴尊は「もし悪い病気が流行ることがあつた時には、茅で輪を作り腰につければ病気にからない」と教えられました。

人形・車形の使い方

古くより禊や祓をする時に人間の身代わりとして人形を用いてきました。当分祠では夏越の大祓の際に、人形（ひとがた）・車形（くるまがた）を形代（かたしろ）にして自らの罪穢れを移しお祓いします。人形の紙に氏名を記入し、息を三回吹きかけ、頭から全身気になる場所を撫でこすり、悪い気を取り移してお祓いします。



出雲大社における鎮魂の神楽

様々の祭りを行う際に神楽が奏される。神道の音楽の由来を見ると、古く天岩戸神話などの歌舞に見受けられ、言霊としての歌がそうであるよう、神楽もまじないの意味合いが強かった。平素より、当分祠社殿において笛や太鼓の神楽が奏される。これは中国から伝来した雅楽ではなく、島根県出雲地方に伝承する、出雲大社の独自の神楽である。

巫女神楽は、舞人（巫女）・楽太鼓・笛吹の三名で構成される。笛の譜は、「一二三四五六七八九十」で、『先代旧事本紀』天璽瑞宝十種一天津神より饒速日命に十種の神宝が授けられた故事に由来される。十種の神宝を数え上げ、「一二三四五六七八九十」「布瑠倍由良由良布瑠倍」と唱えるヨミガエリのタマフリ（まじない）で、魂鎮めの鎮魂祭祀である。これを笛の「音」に移したものと見える。巫女舞において、瑞鈴をタマフリしながら神前に向かって円を描くように三周まわり、三回繰り返す。それぞれの三回りの笛の音が「一二三」となる。出雲大社における神楽は、素朴な独特の調子の中に鎮魂の祈りがこめられ、古来より今に伝承されているのである。

七五三のお祝いとは、子どもたちに元気に育ってほしいとお祈りし三歳、五歳、七歳と成長する様をお祝いの儀式です。



七五三詣のご案内



※土日祝日は九時・九時半・十時・十六時半と三十分毎を目安に御祈願を斎行します。ご家族様お揃いの上受付をお済ませ下さい。

※平日は随時お申込みの順にて斎行します。十・三十分程度の待ち時間になります。

※混雑時は上記の限りではありません。また時間ごとに最大二十四組と一緒に御祈願を斎行します。

※お付添いのご家族・おじいちゃん・おばあちゃんも一緒に昇殿する事が出来ますが、七五三詣はお子様主役ですので土日大安の混雑時には保護者様以外はお席の確保ができない場合もあります。混雑情報は公式サイトで予め情報が出ますのでご参考にして下さい。

・七五三（帯直し）は暦の上では通常十一月十五日といわれますが、九月下旬から十二月中旬までの期間で来られる方が多いです。

御都合のよい時期にお越し下さい。

◆御祈願料
一万円・七千円・五千円
お子様の授与品として福袋（おもちゃ入り）・御守・千歳飴を授与。

◆祈禱受付時間
八時四十分～十六時三十分
（事前の予約は不要（混雑時を除き人数制限なし・おじいちゃんおばあちゃんも昇殿可））

◆耳寄り情報
十月より境内に期間限定で《七五三限定記念写真スポット》《祝い太鼓》を設営します。（無料）（十月～十一月末まで）
◆七五三祈禱は一年を通して毎日受付可。

※出雲記念館にて着付け・記念写真など絶賛受付中

令和七年節分祭 元横綱照ノ富士親方・熱海富士・尊富士参列

豪快な豆まきを披露

令和七年二月二日出雲大社相模分祠にて節分祭豆まき神事を斎行。

参加者三千人以上、伊勢ヶ濱部屋力士 十七名が参列

・伊勢ヶ濱親方

（第六十三代横綱旭富士）

・第七十三横綱照ノ富士親方

・尊富士関・熱海富士関

・伯桜鵬関・翠富士関

・宝富士関・錦富士関

・付き人九名 呼び出し一名

・はだのふるさと大使

会田雅吏（映画二宮金次郎主演）

当日は十四時三十分から分祠長齋主のもと殿内で神事が行われ、引き続き境内にて盛大に豆まき開催。

豆まきは予約不要・一般参加可能・無料で行い、合計

七千個の福豆を準備。おすもうさんをはじめ約百人の豆まき・まき手と約三〇〇〇人の来場者が豆まきに参加。事故防止のため、お子さま・お年寄りには手渡しで行い引き続き、やぐらの上から景気よく福は内の掛け声で豆まきをはじめました。

参加者はお相撲さんの大きな身体を間近に見ることができ、また参拝者の多さと迫力に圧倒されていました。豆まき会場に、入りにくい参加者のため十回ほどに分けて順番に豆まきを行いました。たいへん縁起がいい福豆を参加者全員がうけて笑顔で帰られました。参加力士は節分祭で必勝祈願の祈念をして御札をうけられ参列しました。奇しく



第七十三代横綱照ノ富士親方

第六十三代横綱旭富士伊勢ヶ濱親方

翠富士関

尊富士関

伯桜鵬関

錦富士関

※相撲力士の豆まきは、相撲力士が四股（シコ）を踏むことにより大地を踏みつけ邪気を鎮める魔除け厄除けをするという意味も込められており、お相撲さんによる当分祠の豆まき神事は三十年以上続く恒例行事です。

十年ぶり 大相撲秦野場所開催 満員御礼

令和七年四月二十五日秦野市制七〇周年を記念して大相撲秦野場所（会場・メタックス体育館はだの）が開催された。【大相撲秦野場所実行委員会 勧進元：出雲大社相模分祠】が主催。

■勧進元は

出雲大社相模分祠

秦野で大相撲が開催されるのは七回目。草山実行委員長が分祠長を務める出雲大社相模分祠が勧進元となり、開催するのは今回で五回目となる。毎年、伊勢ヶ濱部屋の力士が新年の参拝や節分祭の豆まきに訪れており、秦野と大相撲とのゆかりは深い。「市民の皆さまに、日本の文化をできるだけ『生』で、見て、感じて、知っていただける機会になるように、このような企画をさせていただきまして、七十年は人の年齢でいうと古希に当たります。古希は滅多にない、少ないという意味があり、秦野市も七十年の齢（よわい）を重ねてきました。これから秦野市民が希望を持って、この土地で未永く幸せに暮らせることを願っています」と開催への思いを話す。



大相撲秦野場所/秦野市長を表敬訪問
草山分祠長と元横綱白鵬こと宮城野親方

大相撲秦野場所を前に、勧進元である草山清和出雲大社相模分祠長と、秦野場所担当親方である元横綱白鵬の宮城野親方らが二十一日、高橋昌和秦野市長を表敬訪問した。

市制施行七〇周年を記念し、平成二十六年以来の開催となる大相撲秦野場所。巡業の段取りを整える「先発親方」を務める宮城野親方は、「秦野に来るのは、現役として参加した前回から十年ぶり。みなさんと会場で再び会えたら」「引退して三年。ご飯やお酒がおいしく、あしたの稽古がないのが幸せ」と軽妙な語り口で周囲を和ませた。一方の高橋市長は、「市制七〇周年に花を添えて頂いた」と感謝を述べた。

宮城野親方は四月十八日から秦野入り。巡業を盛り上げようと、丹沢まつりをはじめとする秦野市内各所の神社の祭礼やイベント、地元のお店などを行脚した。横綱を十四年間も勤めた平成の大横綱白鵬の人氣は健在で、笑顔で地域と交流を深めた。



土俵は行事さん指導の元、この日の為に体育館内に臨時設置。安全祈願祭斎行。



■横綱「豊昇龍」神奈川県大磯出身「湘南乃海」が人気 当日は満員御礼

横綱・幕内力士を含む総勢約二百人が秦野に集合、三三〇〇人が来場した。本場所さながらの取組はもちろん、相撲の禁じ手をコント風に紹介する「初切（しよつきり）」や力士の力強い歌と合いの手が印象的な「相撲甚句」・地元小学生ちびっこ力士との稽古など、巡業でしか見られない和やかな風景も地方巡業の魅力。神奈川県大磯町出身の湘南乃海の番付ではひときわ大きな歓声が上がり、明生に勝ち星をあげた。大関の琴櫻、大の里、今年一月に昇進した横綱豊昇龍も登壇し、巡業を盛り上げた。



会場のメタックス体育館（市総合体育館）満員御礼。3200名

季節の行事を楽しむ 第4回出雲大社相模分祠 写真コンテストエントリー開始



第3回 写真部門
優秀賞 栗原正行 様

第3回写真部門
↑ 優秀賞 佐藤美穂 様

第3回インスタ
部門入選 →
sena_chaaan

第3回インスタ部門
優秀賞
saqarimavuqe

第3回写真部門入選
田中映伸様

当分祠をテーマとした様々な写真・風景画を広く募集する「第4回出雲大社相模分祠 写真コンテスト」開催
応募締め切り令和七年七月二十日
参加無料 一人3点迄

●一般写真部門・・・応募票に必要事項を明記し、応募写真の裏にテープで貼り付け、授与所に直接お渡しするか、郵送で応募下さい。

●SNSの写真部門・・・インスタグラムで投稿して下さい。（タグ付け）
#出雲大社相模分祠写真コンテスト

各部門 大賞（二万円）
優秀賞（一万円）
入選（景品）

八月に隣接出雲記念館で

「第4回出雲大社相模分祠 写真展」を開催
受賞作は出雲記念館で展示・ポスター・社報で使用・掲載。

応募作品の返却不可。サイズ・条件等 詳細公式サイト・パンフレットを要確認。



第3回インスタ部門
大賞
mikiyaf 様

郵便局からお振込み方法の案内

《お振込み票の書き方》

（払込取扱票）

- ①お振込み分の金額（玉串料）を『払込取扱票 **a**』及び『払込票兼受領証 **b**』の金額欄にご記入下さい。
- ②『払込人住所氏名 **c**』欄には郵便番号・住所・氏名をはっきりと楷書でご記入下さい。（授与品の発送先になります。）
- ③『御依頼人 **d**』には氏名のみご記入下さい。尚、金額は一例であり、祈願の内容に応じて、お納め下さい。

◇郵送祈禱は左記のゆうちょ銀行口座で受付

◎ 他行からのお振込みの場合

ゆうちょ銀行

店名 【029店（ゼロニキウ店）】

口座番号 【当座 37940】

口座名 【宗教法人 出雲大社相模分祠】

◎ ゆうちょ銀行間の送金の場合

ゆうちょ銀行

取扱票番号【0022017137940

加入者名 【宗教法人 出雲大社相模分祠】

※ゆうちょ銀行郵便局に口座がなくてもご利用頂けます。（手数料神社負担）



◆茅の輪飾り ◆御神札
玄関・神棚等にお祀りして下さい
◆出雲そば

《払込取扱票の使い方》

払込取扱票と送金額の料金を添えて、ゆうちょ銀行・郵便局にある払込機能付きATMか、ゆうちょ銀行・郵便局の貯金窓口にてお支払いができます。

■ ゆうちょATMでの 通常払込の操作手順

- 1、画面の「ご送金」を押す
- 2、画面の「払込書でのご送金」を押す
- 3、払込書を挿入する
（通帳入口の上）
- 4、ご依頼人の確認
- 5、振込先口座番号の確認
- 6、金額の確認
- 7、お支払方法の確認
（「現金」を押す）
- 8、現金（紙幣と硬貨）の投入
- 9、お釣りと控えを取る

※払込票紛失の際はゆうちょ銀行・郵便局の窓口にごさいます。
（但し、払込手数料払込人負担）

※玉串料お振込み記入例※

1 玉串料をご記入下さい

2 おところ・おなまえをはっきりとご記入下さい。

3 おなまえをはっきりとご記入下さい。

a

b

c

d

払込取扱票			通常払込料金 加入者負担	
口座記号	口座番号（右詰めで記入）	金額	備考	備考
00220-7	37940	¥19000		
宗教法人出雲大社相模分祠				
◇大祓	1 件	3000 円		
◇郵送祈禱	2 件	15000 円		
◇送料	1000 円	合計 19000 円		
257-0015				
神奈川県秦野市平沢1221				
出雲次郎				
0463 81-1122				

振替払込請求書兼受領証

振替払込請求書兼受領証		
口座記号	口座番号（右詰めで記入）	金額
00220-7	37940	¥19000
宗教法人 出雲大社相模分祠		
出雲次郎		
様		

◎夏越の大祓のご案内

六月の晦日、恒例の夏越の大祓（おおはらえ）神事を斎行します。

斎行日 六月二十九日（日）午後三時
六月三十日（月）午後六時
七月 六日（日）午後四時

玉串料 三〇〇〇円（一世帯）
授与品 茅の輪・撤下銭

（ご来社が叶わない方へ）

郵送でのお申込みの際は下記の手続きの申込みをご利用 願います。郵便振替のご入金 を確認した後、郵送にて授与品を発送します。

※送料千円のご負担をお願いします。

代金引き換え対応は諸事情により受付を終了致します。郵便振替が難しい方は、現金書留封筒に申し込み書と初穂料・送料を入れて郵送願います。

※郵便振替の送料は左記の通り。

大祓のみ 千円（一律）
郵送祈禱のみ 千円（一律）
大祓・郵送祈禱の両方 千円（一律）

大祓・郵送祈禱郵送申込書

この用紙は郵送祈禱専用紙です

ふりがな	發送先住所	ふりがな
〒		
電話番号		
() —		
メールアドレス		
@		
いずれかに ☒ して下さい		
郵便振替 ☐		
現金書留 ☐		
備考欄		

通信欄

裏面の記入表の祈禱件数と金額の記入をお願い致します。			
大 祓	件		円
郵送祈禱	件		円
送 料	1,000 円		
合 計			円

— 受付備考欄 —	この欄には記入しないで下さい	受付
祈禱料振込み		
神 札 郵 送		

郵送祈禱申込記入表の書き方

①ご希望の祈願内容の下に神札に記入する名義（ふりがな）をご記入下さい。会社の場合は会社名にてご記入願います。ご記入頂いたお名前で神札にお書きします。

例 株式会社いずも 等

②祈願一件につきそれぞれ玉串料をご用意願います。御祈願ごとに神札をご用意します。

③下記の申込み書を切り取り、同封の返信封筒に入れて、ご送付願います。次に裏面の郵便払込取扱票に必要事項を記入し、ゆうちょ銀行・郵便局でご送金願います。入金が確認できましたら随時神札を発送します。

※年末年始・お盆期間土日祝日等ゆうちょ銀行が定休日の日に入金された場合、翌営業日まで確認できませんので送金に関するお電話による御問合せ等ご対応ができません。ご容赦ください。

④大祓の郵送でのお申込みの際も同様にご利用頂けます。

※祈禱申込表の記入例※

① 郵送祈禱申込記入表		◇祈願料 五千元・七千元・一万円・二万円・三万円	
祈願内容	祈禱料	祈願内容	祈禱料
家内安全	出雲大社	社運隆昌	出雲大社
交通安全	出雲大社	神恩感謝	出雲大社
縁むすび	出雲大社	身体健全	出雲大社
八方除	出雲大社	心願成就	出雲大社
厄除・本後諸	出雲大社		
商売繁盛	出雲大社		
初宮参り	出雲大社		
地鎮祭	出雲大社		
合 格	出雲大社	そ の 他	出雲大社

切りとり線

記入表に記入した祈禱件数と金額の記入を裏面の合計表に記入願います

郵送祈禱申込記入表

この用紙は郵送祈禱専用紙です

◇祈願料 五千元・七千元・一万円・二万円・三万円 御札の大きさが異なります。

祈願内容	祈禱料	祈願内容	祈禱料
（ふりがな） 神札に記入する名前		（ふりがな） 神札に記入する名前	
家内安全		社運隆昌	
交通安全		神恩感謝	
縁むすび		身体健全	
八方除		心願成就	
除前・本後諸		障 除	
商売繁盛		安 産	
事業繁栄		開 運	
事業成功		学業成就	
合 格		そ の 他	

記入表に記入した祈禱件数と金額の記入を裏面の合計表に記入願います

令和七年 第四回

出雲大社相模分祠

写真コンテスト

令和七年八月一日～末日まで隣接出雲記念館で

「第四回 出雲大社相模分祠写真展」開催

当分祠をテーマとした

様々な写真を募集する

「第四回 出雲大社相模分祠

写真コンテスト」開催

●写真部門

応募票に必要事項を明記し、A4サイズの応募作品の裏にテープで貼り付け、授与所に直接お渡しするか、郵送で応募下さい。

●SNS部門

Instagramで投稿して下さい。
#出雲大社相模分祠写真コンテスト

●各部門毎の表彰

大賞（二万円）

優秀賞（一万円）

入選（景品）

●応募締め切り

令和七年七月二十日

参加無料 一人三点迄

◎受賞作は出雲記念館で展示・ポスター・社報で使用・掲載

◎条件など、詳細は公式サイト・パンフレットを要確認。

地鎮祭のご用命は

―出雲大社相模分祠へ―

地鎮祭とは、家づくり・土木・建築等の起工にあたり土地の神様に奉告し、工事の安全と順調な竣工を祈願する祭儀です。出雲大社相模分祠の御祭神は、日本の大地を主宰する大地主大神様とも讃えられる土地鎮めの神様でもございます。

当社では『関東のいずもさん』として神奈川県全域に赴きまして、地鎮祭・入居家祓・取壊家祓・上棟祭・井戸祓等の出張祭典を受け賜っております。その施工数は年間一二〇〇件以上に昇り、全国最大級の規模です。これまでに五万世帯以上の幸せな家づくりをお祈りしてきた伝統と実績がございます。

新築・改築・お引越越しのお祓いは、出雲大社相模分祠へ。家相のご相談も承ります。



〇四六三（八一）一一二二

地鎮祭（出張祭典）玉串料

一、三五〇〇円

（祭壇準備・祈禱料・交通費含）

神社準備物

祭壇・竹飾り・神饌・神

（お施主様に準備のご負担をおかけしません）

所用時間 約一時間（準備三十分）

出張可能地域

神奈川県全域・町田市・御殿

場付近・熱海

右以外の遠方地域はお車代を頂戴致します。

